

<機械・農作業の共同化に取り組む事例>

## ○担い手への農作業委託

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 枝幸郡 枝幸町 歌登地区	
協定面積	田 畑 草地 (100%) 採草放牧地	
2,654ha		
交付金額	個人配分 48.5% 3,981万円 共同取組活動 (52%) 集落の管理体制 (保全マップ実施) 38.5% 農業生産活動等の体制整備 13%	
協定参加者	農業者 46人	開始 : 平成17年度

### 2. 取組に至る経緯

当集落は、宗谷管内最南部に位置し、傾斜地が多い立地特性から、農業生産活動を通じ、国土保全・水源かん養・良好な景観形成等の多面的機能の確保に努めている。

しかしながら、担い手の高齢化・減少に伴い、耕作放棄地の発生による多面的機能の低下が懸念されるため、農業生産条件の不利を解消する目標を掲げ、第2期策で行った取組を更に充実させ、集落で農業生産活動の体制整備に取り組むことにした。

### 3. 取組の内容

当集落における農業生産環境は傾斜地や河川が多いことにより、農地法面の崩壊を未然に防止するため、集落内の担い手を中心に水路清掃や定期的な点検を行うと同時に、本交付金を活用して草地更新、水路・農道の整備を行っている。

また、経営規模拡大及び経営主の高齢化に伴い、粗飼料収穫作業の自己完結が難しくなっていること、並びに、良質粗飼料確保への意識が高まっていることから、本交付金を活用して導入した大型共同機械を利用するとともに、担い手へ作業委託を進めている。このことにより、好天条件下で短期間のうちに円滑な作業を行う事ができるようになり、良質粗飼料の確保及び採草時の労働力の軽減が図られるようになった。



【法面点検と水路清掃】



【大型機械共同作業】

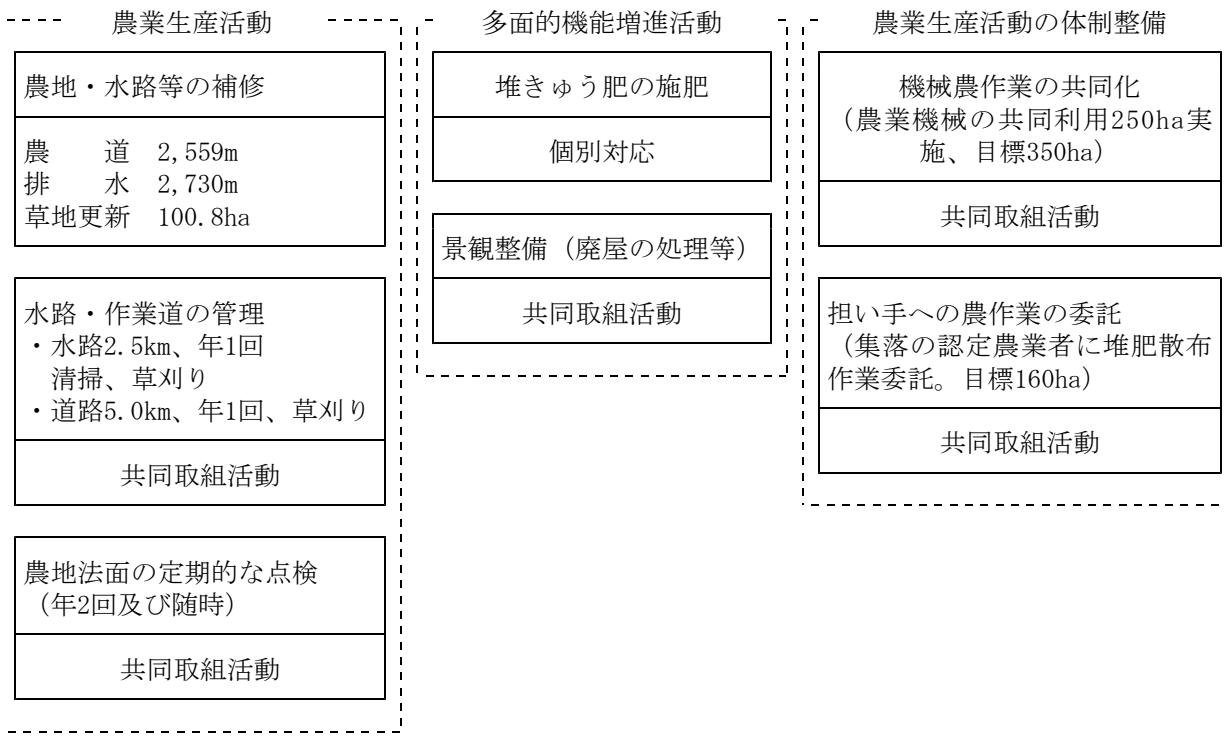
### [集落の将来像]

当集落は、傾斜地が多い立地特性から、農業生産活動を通じ、国土保全・水源かん養・良好な景観形成等、多面的機能を発揮しているが、担い手の高齢化・減少に伴い多面的機能の低下が懸念されるため、農業生産条件を解消し多面的機能の維持増進を図る。



### [将来像を実現するための活動目標]

#### [活動内容]



#### 4. 今後の課題等

農業生産活動等の体制整備として取り組んだ、農道・排水路・草地の整備により、耕作放棄地の発生防止につながっている。さらに、営農組織の育成では、6戸の酪農家が250haの採草地に対し、共同組織を立ち上げ、大型機械導入により採草作業時の労働力軽減及び良質粗飼料確保が可能となった。このことにより、個人同士での共同作業も行う傾向が現れている。

今後は、当制度で取り組み始めた活動を、いかに維持・継続するとともに、さらなる発展をさせることができるのかということが課題としてあげられる。

#### [第2期対策の主な成果]

- 学校との連携により外来種の駆除（ウチダザリガニ）実施（H19 23名、H20 20名、H21 22名）
- 認定農業者の育成（当初49名、目標50名、H21 実績50名）
- 営農組織の育成（大型機械共同作業）6戸 250ha実施